

実施報告書

令和 7年度 「校庭芝生化地域連携事業」 実施報告書

区市町村名 武蔵村山市

学校名 武蔵村山市 立 第十小学校

1 事業目的 協議会名 武蔵村山市立第十小学校グリーンサポーター

校庭芝生を活用して、学校を拠点とした地域コミュニティの活性化を図る。

2 主な取組と成果

今年度も、芝生を活用した学校行事や地域向け行事を開催し、学校が地域コミュニティの中心となることができた。

芝生の整備作業については、グリーンサポーターや用務主事に加え、環境委員会の作業が定着している。また、芝生整備作業を通して、児童の美化活動（植栽など）の意識も高まってきており、地域団体の支援を受けた緑化事業に取り組むことができた。

3 取組内容

①消防写生会（4月22日）

消防車を校庭に招き、児童は周辺の芝生から絵を描くことができた。

②防災キャンプ（5月23日・24日）

5年生を対象に、災害時の学校避難所開設について学んだ。簡易トイレの設置などを芝生近辺で体験した。

③キャンプ体験

（6月13日・14日、10月24日・25日）

芝生エリアのおかげで、アウトドアクラブの宿泊体験が定着してきている。芝生にテントを張り、焚火を囲みながら、地域協力者とともに一晩を過ごした。

また、今年度は、第6学年の卒業イベントとしても、芝生を活用したキャンプ体験を行う予定である。

④天体観望会（11月29日）

芝生の上に天体望遠鏡を設置し、保護者・地域の協力者とともに望遠鏡で遠くの星々を観察したり、芝生に腰を下ろして美しく広がる星空を味わったりした。

⑤環境委員会による芝生作業（年間）

環境委員会が、年間を通して芝生作業の一部を担っている。芝刈りや冬芝の種まきなど、実際に作業を行うことで、芝生を大切に育てていこうとする心が養われた。

⑥芝生区画の整備

近年の気温が高い時季が増えた影響か、年々、芝生が広がるペースが早まっており、運動会に支障をきたすようになってきた。例年、人力で作業してきたが限界があり、今年度は、武蔵村山市から重機を借りて、区画の整備を行った。



4 今後について

今後については、以下の点を模索していく。

- ・芝生を活用した新たな行事の創出
- ・芝生の整備、活用に関するコミュニティの拡大

上記2点の取り組みを複合的に進め、芝生にかかわる人とアイデアを拡充しながら、学校が地域活性の拠点となるようにしていく。